

お嬢「髪といえば・・・あなたもなかなか美しいものを持っているわね。」

まじめ「はい？」

お嬢「下の方もさぞかし美しいのでしょうか？」

少女「そうなのだ！まじめは下の方もしっとりツヤツヤなのだ！」

まじめ「えええ！？」

お嬢「ふうん、それはぜひとも拝んでみたいものね...」